

研究・調査報告書

報告書番号	担当
117	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名（原題／訳）	
Risk factors for delirium in trauma patients:the impact of ethanol use and lack of insurance. 外傷患者のせん妄の危険因子：飲酒と無保険の影響	
執筆者	
Branco BC, Inaba K, Bukur M, Talving P, Oliver M, David JS, Lam L, Demetriades D.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Am Surg. 2011 May;77(5):621-6.	
キーワード	
リスクファクター せん妄 外傷患者 飲酒 無保険者	
要 旨	
<p>目的： この研究の目的は、入院時の飲酒スクリーニングが行われた外傷性患者コホートで、せん妄の発症の危険因子、特にせん妄への影響について検討することである。</p> <p>方法： 国家外傷データベース（v. 7.0）を使用し、入院時 18 歳以上の患者で入院時の飲酒状況を特定した。さらに、せん妄を発症している人としていない人を比較した。ステップワイズ・ロジスティック解析でせん妄発症の独立した危険因子を特定した。</p> <p>結果： 504839 人の患者の入院時の飲酒状況を明らかにした。そのうちの 0.6%、2909 人がせん妄を発症していた。せん妄を発症している人は、高齢者と男性が有意に高く、火傷と転落が多い傾向を示した。せん妄の発症は、慢性的な飲酒（19.1 対 4.5%、P 値 0.001 未満）心血管疾患（21.5 対 12.2%、P 値 0.001 未満）と関連を示した。入院時ではせん妄発症は、飲酒は（55.4 対 26.5%P 値 0.001 未満）、無保険者は（17.8 対 0.9%、P 値 0.001 未満）と関連を示した。ステップワイズ・ロジスティック回帰分析では、無保険者、入院時に飲酒していること、慢性的に飲酒している人、ICU の入院、55 歳以上、火傷、低所得者用保険、転落、心血管疾患の既往が、せん妄発症の独立したリスク因子であった。外傷を負った患者のせん妄発症率は 0.6%であった。</p> <p>結論： この研究からは、無保険者、入院時の飲酒、慢性的飲酒、ICU、55 歳以上、火傷、低所得者用保険、転落、心血管疾患の既往が、せん妄の発症の独立した危険因子であることを明らかにした。これらのデータは、今後せん妄の予防への介入に有用であろう。</p>	